

大田亮 （明治） 國史學者。明治十七年七月十五日奈良縣生れ。昭和二十一年五月、二十七回歿（八八回一九五五）。神宮皇學館等公學の、内務省嘱託の經り、昭和十七年と命館大學教授、戰後近畿大學・専修大學各教授歴任。古代氏族制度、系譜學を研究。

著書『肇國の聖地鹿兒島縣』（昭和十五年一月）、二十五年鹿兒島・紀元

（二十六年）百年鹿兒島縣奉祝會「神社並神武天皇聖蹟顯彰資料」（『新

撰姓氏錄と上代氏族史』（教養局編、昭和十五年九月八日刊）『日本精

神叢書』（『姓氏と家系』（昭和十六年七月）、二十五年創元社「創元選

書』（『氏神の信仰』（昭和十八年一月）、二十五年明世堂書店「納紙

叢書』（）等。